

方南一丁目地区防災まちづくりの取組について

方南一丁目地区防災まちづくりの取組について、以下のとおり報告します。

1 これまでの主な経過

方南一丁目地区は、木造住宅が密集し、狭あい道路が多く、公園等の空地が少ないことなどから、大規模地震の発生時に大きな被害が懸念される地区となっている。そのため、区と都が連携して、防災性の改善に向け、新たな防火規制や不燃化特区の指定、建築物不燃化助成などの取組を進めてきた。また、平成29年には区の呼びかけをきっかけに、住民主体の「防災まちづくり勉強会」が設立され、令和元年には、防災まちづくり構想を区に提案する事を目的とする「まちづくり検討会」に発展した。その後、勉強会及び検討会での検討を経て、令和4年7月、同検討会が取りまとめた「方南一丁目地区防災まちづくり構想」が区に提案された。

2 現在までの主な取組

区では、杉並区まちづくり基本方針等の上位・関連計画及び「方南一丁目地区防災まちづくり構想」を踏まえ、まちの将来像や取組方針等を位置づけるため、「方南一丁目地区防災まちづくり計画」の策定に向けた検討を進めている。また、令和4年12月にオープンハウスの開催やアンケート、戸別訪問を行い、地域住民の意見把握に努めた。

3 今後の進め方

今後は「方南一丁目地区防災まちづくり計画（たたき台）」について、オープンハウスを開催し、地域住民の意見を伺うとともに情報共有を図りつつ、段階的に計画の策定を進める。（別紙参照）

【スケジュール（予定）】

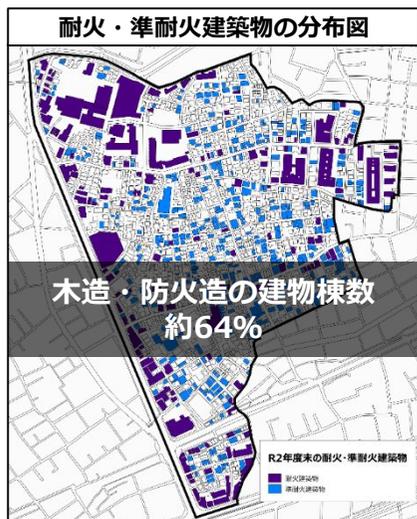
令和5年9月	災害対策・防犯等特別委員会に報告
11月	防災まちづくり計画（たたき台）に関するオープンハウス開催
令和6年2月	防災まちづくり計画（案）に関するオープンハウス開催
6月	防災まちづくり計画の策定

方南一丁目地区防災まちづくり計画（たたき台）の概要

災害対策・防犯等特別委員会資料
令和5年9月26日
都市整備部 耐震・不燃化担当

現況・課題

- ① 木造・防火造が全体の約64%であり、**木造住宅が密集**している
- ② **道路基盤がぜい弱**であり、東側の大半が消防活動困難区域になっている
- ③ **公園・広場が少なく**、災害時に一時的に避難する場所が不足している
- ④ 区内において**地域危険度の高さが上位**である
- ⑤ **地域の防災・防犯**について、更なる意識向上が求められる



防災まちづくりの取組方針

- ① 国・都・区の制度を活用し、**建物の不燃化・耐震化等を支援**する
- ② 緊急車両の通行や安全・円滑な避難に有効な**道路を整備**する
- ③ 公園やポケットパーク等を整備し、**オープンスペースを確保**する
- ④ 防災まちづくり方針図に示す基盤整備を行い、**地域危険度を改善**する
- ⑤ **まちの防災力強化・防犯性向上**に向け、地域住民との協働を促進する

